

# しんらん同人

浄土真宗本願寺派 誓願寺 〒171-0053 東京都豊島区南長崎1-3-8 電話 03-3950-7828

春入称名口忽開  
声高無量寿如來  
言勿樂土西方遠  
一夜東風千里梅

あけまして

南無阿弥陀仏

本年もどうぞよろしく  
お願い申し上げます

誓願寺住職代務

岡本信之



平成二十八年  
元旦

春は称名に入りて口忽ちに開く

声高し無量寿如來  
言うなかれ樂土西方遠しと

一夜の東風 千里の梅

仙崖和尚のこの言葉は、新年を迎える度に父が書にして味わっていたものです。和尚は禪僧ですがお念佛も喜ばれた方でした。新年を迎えて一番先に口を突いて出たのがお念佛でした。菅原道眞の詠んだ「東風吹かばにほいおこせよ梅の花あるじなしとて春な忘れそ」の逸話に因んで、お淨土は西方十万億土を過ぎた遠いところと聞くが、お念佛を頂いた者は如来さまの本願力にまかせて一足飛びにお淨土に生まれさせて頂くのである。育ててくれた人の真心に応えて梅の花でさえ千里も離れた京から飛んできたではないか。お念佛申す身體させて頂くとは何と幸せなことであろうか、と声高らかにお念佛されたのでした。

平成二十八年一月一日（金）午後一時より修正会（年頭法座）をお勤め致します。声高らかに正信偈を唱え、お念佛させて頂きましょう。一年の計は元旦にあり。お誘い合わせてお参り下さい。

念仏申さるべし

誓願寺前々住 岡本泰雄

蓮如上人御一代記聞書の第一条に 勸修寺村の道徳、明応二年正月一日に御前へ参りたるに、蓮如上人仰せられ候、「道徳はいくつになるぞ、道徳念仏申さるべし。自力の念仏」というは、

念仏多く申して仏にまいらせ、この申したる功德にて仏の助けたまわんずるよう思うて称うるなり。他力というは、弥陀をたのむ一念のおこる時やがて御助けにあづかるなり。そののち念佛申すは、御助けありたるありがたさと思う心をよろこびて南無阿弥陀仏、なむあみだぶつと申すばかりなり。されば他力とは他の力というこころなり。この一念、臨終までとおりて往生するなり」と仰せ候なり。明応二年正月といえ巴蓮如上人御とし七十九才で、山科本願寺建立後十三年目にあたります。この山科本願寺に年賀に参られた道徳という同行に語られたおことばであります。

「道徳、ことしあはいくつになりましたか。道徳、念仏もうしなさいよ」世間には、念仏をたくさん称えて、その功德で仏のお救いにあづかるように思つて、念佛する人たちがありますが、それは自力の念佛であります。他力といわれるものは、弥陀をたのむ一念のおこるとき御助けにあづかるのであります。弥陀の本願は私を救わぬにはおかしい、必ず救いたい、もしも救うことができなければ仏にはならないと誓われ、その願いを仕上げられた方が阿弥陀如来であり、私を救わんがために仏となられたお方であります。されば、南無阿弥陀仏のみ名も如来の御姿もすべて私の救われる証拠であります。この如來の御願いを聞き信する身にして頂いた時、つまり一念発るとき、お助けに

あづかるのであります。ですから、お救いの中にあることをころんで念佛申すのであります。信する心も念佛することもあります。この信の一念が臨終まで通つてお淨土に参らせていただぐのです。

博多の仙庵和尚は「春は称名に入りて口忽ちに開く。声は高し、無量寿如来」と詠われたと聞きます。新春を迎えて、一番先に口をついて出たのが、南無阿弥陀仏であつた、高らかに念佛したといわれます。なむあみだぶつは、大悲にしつかりと抱かれているということであります。こんなに尊く、ありがとうございましたく、おめでたいことばが外にありますか。今をよろこびお念佛していきましょう。



▲11月22日 西報恩講 高田慈昭先生



▲11月4日 誓願寺坊守 得度習礼を受けました



4月14日 兄弟4人初めての旅 水前寺公園にて  
兄はまだ元気でした

平成二十八年年間ご法座のご案内

一口法話

新しい年を迎えて

岡本信之

新平成二十八年を迎えます。「皆さまにおかれましては新しい年が良い年になりますよう心より念願いたします。」「良い年をお迎え下さい。」等々、良い年という言葉が年頭の挨拶にたびたび出でています。

さて、この良い年とはどういう年を言うのでしょうか。私なりに考えてみたいと思います。先ず、起こつて欲しくない出来事、天変地異、火事、凶作、戦争、テロ、人種差別、家庭内暴力、夫婦兄弟親子喧嘩、いじめ、自殺、家族との別れ、不慮の事故、ウイルス性伝染病、がん、脳梗塞、糖尿病、心筋梗塞、呆け、寝たきり、騙したり騙されたり、恨んだり恨まれたり、怒つたり怒られたり、苦しんだり、悲しんだり等々、まだまだ続きます。

次に、こうありたいと願うこと。平和、健康、豊作、家内安全、商売繁盛、病気平癒、厄難消除、十億円宝くじ当たれ、世界一周、私もノーベル賞、世界一、大臣の椅子等々、まだまだ続きます。

こうやつて考えてみると、どちらも一年中当たり前に起こり、当たり前に誰もが願つても、願い通りにはいかず、何が本当にいいのか、何を本当に願うのか、わからなくなってしまいます。「煩惱具足の凡夫、家宅無常の世界は、よろづのこと、みなんもつてそらごとたはごと、まことあることなきに、ただ念佛のみぞまことにておはします。」歎異抄

一月一日(金)	午後一時	年頭法座
十月廿四日(日)	午後一時	定例法座
二月十四日(日)	午前十時	新春特別法座
三月十三日(日)	午前十時	定例法座
四月廿七日(日)	午前十時	彼岸法要
五月廿四日(日)	午後一時	定例法座
六月十二日(日)	午前十時	花まつり
七月廿六日(日)	午後一時	定例法座
八月廿二日(日)	午後一時	永代経法要
九月十一日(日)	午前十時	定例法座
十月廿五日(日)	午前十時	お盆法要
十一月廿三日(日)	午後一時	定例法座
十二月廿七日(日)	午前十時	婦人会追悼法要
十二月十一日(日)	午前十時	定例法座
		報恩講法要

釈 尚文 独り言 (誓願寺副住職 古賀尚之)

近頃、今の私の置かれている環境を考える時に「私は何のために生まれてきたのだろう?」と云う思いが頻繁に湧いてまいります。その中で「仏法に遇うために人として生まれたのではないか」との思いが、ほんの少しですが芽生えてまいりました。これは以前には無かつた感情です。その部分をもう少し整理できれば良いのですが、その説明方法内容に迷っているのが現状です。今後隨時お話をしたいと考えています。

頗りみ逝きて あこたぐましき はつはるの うれしくもあり  
うれしくもなし (借用句と引用の混合句)  
振り返りますと昨年は、年頭には思いもかけなかつた色々なことが数多く起こつた気が致します。十月には、前住職・岡本泰仁師(小生の義兄)のご逝去もありましたが今ではこの事も過去形として受け止め、新たな年に向かつて進む気持ちを醸成する時間が流れております。

話は変わりますが、平成二十五年から新たに始めました「われもひかりの うちにあり」と記載した記念品シリーズも四年目を迎え、本年は「竹製の長尺靴べら」に決定致しました。卑速下元旦会にお参りのお同行に 誓願寺が心まる場所に成るためには、課題が山積致しておりますが、少しづつ具体化してまいりたいものです。

本年の法座は別添のとおり、大恩寺はじめ多くのご講師のお

陰で決定いたしました。一方開催の時間帯をかなり変更致しております。お配りいたしましたカレンダーや寺報をご確認の上お参り下さい。

編集後記や写真をもつと導入したいと思いますが、残念ながら未だそこまで余裕がありません。ご容赦ください。リキはドックフード中心の食生活でかなりスリムになり散歩も少し走るまでになりました。ナナは家猫にするかどうか思案中です。二匹とも長時間相手をしてくれる人がいなくなり寂しそうですが今のところ仕方がありません。

年末に、良い一年だったねと言える一年にしたいものです。

#### 一月ご法座のご案内

一日(金)	午後一時	年頭法座
十日(日)	午前十時	定例法座 岡本信之師
	正午	医療相談 佐藤公彦師
十七日(日)	午前十時	なかよしクラブ
廿四日(日)	午後一時	特別法座 高田慈昭師
		合同样月命日法要

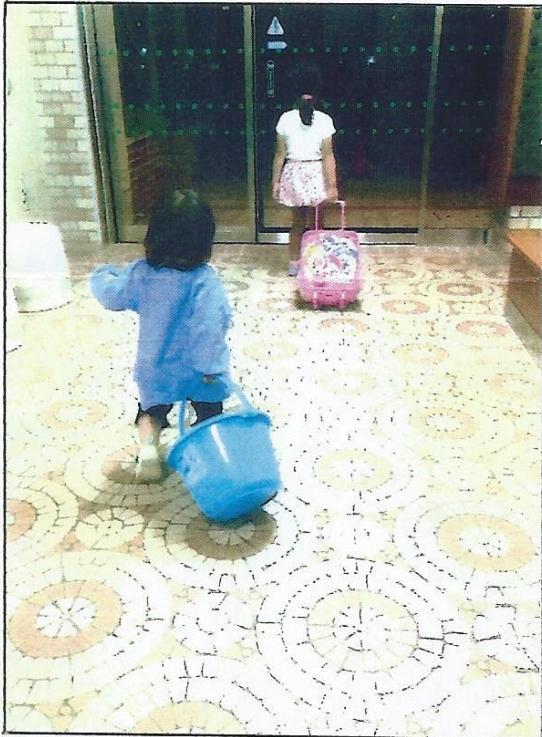
#### 二月ご法座のご案内

十四日(日)	午前十時	定例法座 上野隆平師
	正午	医療相談 佐藤公彦師
廿一日(日)	午前十時	なかよしクラブ
廿八日(日)	午後一時	定例法座 高田慈昭師
		合同样月命日法要

昨年亡くなった前住職を想って1句

君逝きて あこたくましき 初春の

うれしくもあり うれしくもなし



九州の孫

姉 5歳 妹 1歳6ヶ月



おねえちゃん 待って！

バケツですけど なにか？



イスを使って高いところの物を

取ることを覚えました。

危ないものを片付けないと

( リキとナナ )